

◆回答

ダム本体のコンクリートは、日頃から適切に管理・点検・補修を行っていくことにより機能が維持できると考えられることから、耐用年数のあるダムの各種設備を適切に補修・更新していくことにより、半永久的に使うことができると言ってもよいと考えられます。ちなみに、日本で最初につくられたコンクリートダムの布引五本松ダム（1900年完成；神戸市）は、阪神・淡路大震災（1995年）にも耐え、建設後100年を超えた現在でも運用されています。

また一般的に、ダムには完成後100年間にダム上流から貯水池に入ってくるであろう土砂を貯めるための容量を確保しています。これを超える土砂が入ってきた場合には、ダムの目的である洪水調節や流水の正常な機能の維持に支障を及ぼすことになりますので、毎年どの程度の土砂が貯水池に入ってきているのかなどを把握しています。